

# ロジックモデル（HGV対処用誘導弾システムの研究）

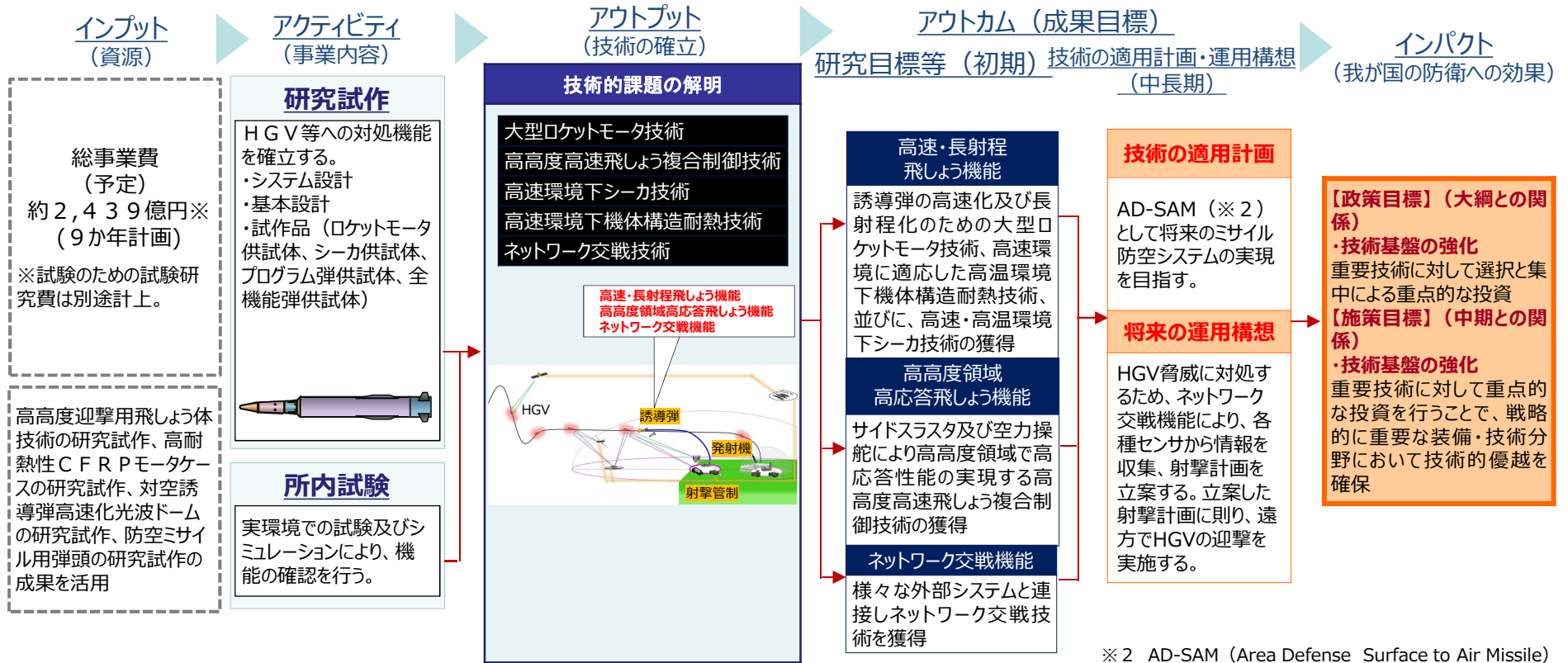
## 【事業の概要】

マッハ5を超える極超音速で、高高度領域を高い機動性を維持しながら飛しょうするHGV（※1）脅威に対処するため、将来の総合ミサイル防空システムに必要な「高速・長射程飛しょう機能」、「高高度領域高応答飛しょう機能」及び「ネットワーク交戦機能」を有するHGV対処用誘導弾システム技術を確立する。

※1 HGV（Hypersonic Glide Vehicle）：極超音速滑空兵器

## 現状・課題

近年、周辺国において、HGV等の極超音速兵器の開発が活発化しており、その性能を確認するための発射試験が実施されている。極超音速兵器は、その速度と機動性から既存装備品での探知や迎撃が困難である。本研究はそのような脅威に対処する迎撃用誘導弾に必要な機能・性能の獲得を目指すものであり、周辺国における極超音速兵器の開発状況を踏まえれば、早期に着手する必要がある。



年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13
実施内容				本事業（研究試作）					
				所内試験			所内試験		

## 総合評価

極超音速で飛来するHGV脅威に早期により遠方で対処するため、誘導弾の高速・長射程化や高高度領域での高応答性を実現するための大型ロケットモータ技術等の必要性は理解できるとともに、様々な外部システムと接続し複数の誘導弾による迎撃を行うことで、高い機動性を有するHGV脅威に対する対処能力向上が期待できる。

また、先行研究における高高度迎撃用飛しょう体の複合制御技術や対空誘導弾高速化光波ドームの要素技術等を十分に活用することにより、研究開発の効率化を図っていることから、本事業に着手することは妥当であると判断する。